

14.10/6

畑丸ごとセット

本日の野菜&果物

白菜ぬき菜	鎌倉	大平さん	かぼちゃ 1/4	北海道	太田さん
里芋	宮崎	朝広さん	ブナシメジ	新潟	片山さん
新生姜	高知	茨木さん	梨	長野	小坂さん

梨は殺虫・殺菌各 2 回、他は栽培中農薬・化学肥料は使用していません

そろそろ米の収穫時なのですが、近年の自然災害、特にこの時季の台風には気を使いますね。台風も年々勢力を増し、雨・風の被害も大きくなり、特に米の収穫時期前は米に実も入り、こうべも重たくなり、倒れやすくなっています。強風で雨水にあふれた田んぼに倒伏しますと大被害を受けることになり、生産者、消費者共に大悪影響となります。みんなで無事に米の収穫が出来るようにお天気の神様にお願いしましょう！

さて、先週お届けの大平さん作、ほうれん草はいかがでしたか…。今収穫出来る露地栽培のほうれん草は夏の時季に畑に植えることになり、天気や虫・病気の影響を受けやすくなります。例年ですとこの時季に収穫できるほうれん草は大平さんも作らないのですが、今年はいいい種があり、早めに植えたのですが、やっぱりというか、そりゃそうだというか、虫さん達のお世話になり、食べられる部分も少なくなり、大平さんもかなり気になっていました。

「おめえーよ、ほうれん草どうだった。結構虫に食われ、見た目が悪かったからなあ～…だけんどよ、味はよかんべ～よ！良い堆肥を入れてばっちり育てたからな。でもやっぱり夏に植えるのは難しいな～。小松菜も虫食いだらけになっちまったかな…来年はちょっと考えんべえ～、おらあーも大反省だ。百姓は毎年が一年生だ…」と大平師匠談。

野菜の無農薬栽培は人によって栽培方法に違いがあります。農薬は使わないけど自家製忌避剤や自然由来の薬草などによる虫忌避や防菌など、それぞれ工夫をし栽培をしています。

大平さんは忌避剤などを使わず、防虫ネットや自分の手で虫取りなどと、自然といえば自然、あるがままに野菜を育てています。大平さんの畑に行くと蝶々はもちろん蜂や蜘蛛など、色々な生き物がいます。近年は小動物もよく姿を見せ、畑の作物を食糧源にしています。

大平さんは畑には小動物や虫などにも必要不可欠な食物があり、それを人も虫も食べる、それが自然界あるべき姿、人が耕す畑。と考え、農業に取り組んでいます。深いな～、尊敬！

10/13 お届け予定

小松菜・露地舞茸・春菊・きゅうり又は玉ねぎ
極早生ミカン・インゲン又は人参

10/20 お届け予定

プチエリンギ・ブロッコリー・秋じゃが芋
ほうれん草・長葱・りんご・お楽しみ